

整理番号	34-3	事務事業名	下水道管理システム整備事業	作成部署	水道部下水道課	電話	内線883	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	赤沼 正三	課長職名	笠原 昇	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H13	根拠法令等	なし					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	布設された下水道管に関する情報の地図化をはじめとして下水道事業事務の遂行上、必要となる情報全般をデータベース化する。このことにより将来にわたる事務の効率化を図る。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第 5 章)
	節	下水道とし尿処理	(第 6 節)
	施策	維持管理の充実	(第 2 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	下水道台帳等のデータ	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	下水道事業の計画、工事や下水道管等の維持管理を迅速、かつ詳細に把握し下水道事業事務の効率化を進める。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	委託により東部、大曲、輪厚、西の里、北広島団地(一部)各地区に布設された下水道管に関する情報を入力し、データベース化や更新をし、地図情報によるシステムの構築を行った。
		17年度	委託により、北広島団地に布設された下水道管に関する情報を入力し、データベース化や更新をし、地図情報によるシステムの構築を実施する。

## 2 実施(ドゥ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	一般会計繰入金等	2,348	3,002		
	下水道使用料		3,802	4,126	4,145
	合計	2,348	6,804	4,126	4,145
人件費 (概算)	人数(年間)		0,01	0,01	0,01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		2,438	6,894	4,216	4,235

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	入力された下水管等の延長	391,5km	484,4km	513,4km	530km
	排水台帳入力枚数				3,000枚
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	下水道管の入力達成率	74%	91%	97%	100%
	(入力された延長 / 総延長)				
	* 総延長(530km) 排水台帳(H16までの枚数約12,400枚)				24%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1km当り入力コスト	96,085円	73,240円	84,500円	76.887円
	1枚当り入力コスト				890円

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	下水道事業に着手以来、30年が経過し事務を遂行する上での各種資料が膨大な量となっている。他市町村においても当市と同様の状況にあり、必要資料のデータベース化は必要不可欠なものとなっている。
---------------------------------	---

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	下水道事業は下水道法により、市町村が実施することになっている。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	下水道事業の計画、工事や下水道管等の維持管理事務を円滑かつ効率的に遂行する上で必要であり、目的は妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	事務処理の合理化等を図る観点から現在の手段は適切と考える。更に、このシステムの充実を図る。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益と負担について適正化の余地はあると思われる。	負担をどの程度とするのかについてH17年度に一定の結論付けをする。

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	限られた予算のなかで年次毎にデータベース化作業が進められており、十分成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	効率的な手法としては委託が優れており、概ね効率的である。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	下水道事業事務の効率化、円滑化、ひいてはコストの節減を図る観点から必要であり、現状のまま継続する。更に、このシステムの充実を図る。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	地図情報の図書印刷サービスにかかる経費については、平成18年度から頒布費用の見直しを行うこと。